

果色が鮮やか、食味よく、栽培しやすい中玉トマト。

ドルチェ

特性と栽培ポイント

育成経過

中玉トマトには食味のよい品種が求められている。また販売の際、果色のよい品種が有利である。そこで食味・食感がよい濃赤色の品種を目標とした。

品種特性

- ・ 果実は赤色球形、35～50g、果肉は粘質多汁で食味がよい。
- ・ 標準糖度（Brix）は7～8.5である、節水栽培で10以上が可能。
- ・ 濃緑中葉で葉幅と節間は普通。
- ・ 萎ちょう病レース1、ToMV（Tm2型）、斑点病に耐病性。

栽培のポイント

■ 標準施肥量（関東ローム土耕栽培）

N = 10～15 P = 40～50 K = 15～20

Ca = 50～60（成分量 kg/10a） 堆肥 3 t/10a

■ 定植適期の苗

抑制栽培で第一花房の蕾が米粒大に確認できる苗。

促成、半促成、早熟・雨よけ栽培で第一花房の3番花が開花の苗。

■ 摘果

果数が多い果房は10～12果くらいに摘果すると肥大・揃いがよい。

■ 接ぎ木栽培の注意

台木使用の際は ToMV 抵抗性遺伝子が Tm2 または Tm2^a 型を保持した品種を使用する。

公益財団法人 園芸植物育種研究所

〒270-2221 千葉県松戸市紙敷 2-5-1

Tel. 047-387-3827 Fax. 047-386-1455